

録音設定／データ管理

Gracenoteデータベースの更新でローカルアップデートと
カスタムアップデートの操作手順(専用アプリケーションの使用)に
つきましては弊社ホームページから提供しております。^(注)

(注) 操作方法につきましては、

<http://www.honda.co.jp/ACCESS>をご参照してください。

また、ご使用の際はユーザー登録をお願い致します。

※ホームページのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

録音方法の手動／自動を選択する	46、47
録音する	48～52
本機のMusic Rack(HDD)機能について	48
Music Rack(HDD)への録音について	49、50
録音速度を選択し、録音方法／録音音質を 選択する	50～52
データ管理	53～73
HDDの情報を知る	53
音楽データの修復をするには	54
音楽データの初期化をするには	55
Gracenoteデータベースタイトル情報の更新の 流れについて	56、57
Gracenoteデータベースの更新をするには	58～62
Gracenoteデータベースのデータを 初期化するには	63
BeatJamを利用する	64
BeatJamでできること	64
BeatJam使用上のご注意	65
ノートパソコンへ接続するには	66～73

録音方法の手動／自動を選択する

音楽CDを本機に挿入したとき、再生される曲をMusic Rack (HDD)へ録音することができます。
録音には手動録音と自動録音があります。

1

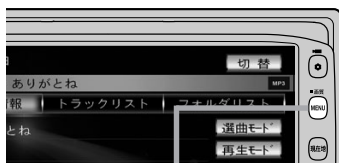
オーディオモード画面でパネルの

[MENU] ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**[MENU]** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



1 **[MENU]** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **録音** ボタンを
タッチする。

：手動・自動／音質設定画面が表示されます。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



2-2



アドバイス

AV MENU画面につきましては **22** ページを参照してください。

3

録音方法(**手動録音** ／ **自動録音** ボタン)
を選択する。

手動・自動／音質設定画面(例)



音質の選択や録音可能時間、HDDの残容量の確認もできます。

51 音質選択 **51** ページ

■ 手動録音 ボタンをタッチした場合

：CDモード画面で録音モード(追っかけ／マッハリッピング)／録音方法(全曲録音／選択曲録音)

／録音音質(高音質モード／標準モード)を選択して
録音開始 ボタンをタッチすると録音を開始します。

52 「**録音速度を選択し、録音方法／録音音質を選択する**」

50～52ページ

■ 自動録音 ボタンをタッチした場合

：音楽CDを本機に挿入すると曲の再生と同時に本機
(Music Rack)に曲の録音(追っかけ録音)を開始します。

50、**78** ページ参照

※本機の録音方法(初期設定)は“自動録音”に設定されています。



アドバイス

- すでに本機(Music Rack)に録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合、自動録音は開始されません。(曲は再生されます。)未録音の曲を録音したい場合は、**●録音** ボタンをタッチして録音を開始させてください。
- ☞ 50~52ページ
- 録音を開始する前に☞ 「録音する」48、49ページを必ずお読みください。

4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：設定は確定(決定)され、**戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に、**AUDIO** ボタンを押すと選択中モード画面に戻ります。

録音する(1)

本機のMusic Rack(HDD)機能について

本機には主に下記に示すようなMusic Rack(HDD)機能があります。

- 録音時にタイトル情報を自動付加(Gracenoteデータベース収録済)
- アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコートなどを選曲モードの各ボタンに自動で振り分け
※収録された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。
- 録音済みの音楽をお好みの曲だけ集めた“お気に入りリスト”作成可能
- Gracenote音楽認識サービスからタイトル情報取得可能
- マッハリッピング(高速録音)機能により録音時間の短縮化を実現
- 設定により手動録音／自動録音の選択が可能
- 別売のBeatJamを使って本機へ曲の転送(チェックアウト)や本機の曲をパソコンへ移動(アップロード)



アドバース

- 選曲モードの各ボタンへの振り分けは収録しているデータベースに合致した場合に行なわれ、自動振り分けがされない場合もあります。
- 録音可能曲数と容量は以下のとおりとなります。

録音可能曲数☆	約3500曲
最大容量	14GB

※☆印：録音音質は高音質モードで1曲を4分で換算した場合
(録音音質を標準モードで1曲4分で換算した場合は約4000曲となります。)

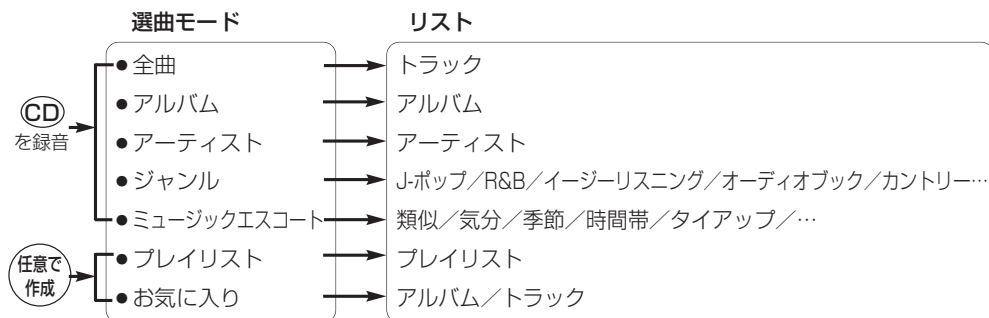
※最大曲数または最大容量に達すると録音はできなくなります。

- Music Rack(HDD)には4つのアルバムと4つのトラックのお気に入りフォルダを作成することができ、1つのアルバムフォルダに200アルバム、1つのトラックフォルダに200曲の登録が可能です。
- マッハリッピング機能により通常の最大14倍速録音が可能となるため、時間がないときなどに便利です。(マッハリッピング(高速録音)中はCDモードでは無音となります。また、マッハリッピング中にCD以外のモードにすると、録音速度が低下することがあります。)
- Gracenoteデータベースについては58～73ページをご覧ください。

■ Music Rackの構成について P108ページ参照

本機に録音された音楽CDは自動で4種類(アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート)の選曲モードの各ボタンに振り分けられます。さらにお気に入りボタンにはお好みの音楽だけを集めたアルバムリストやトラックリストを作成することができます。各選曲モードの再生リストから絞り込んで検索することができるため便利です。

※収録された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。



Music Rack(HDD)への録音について

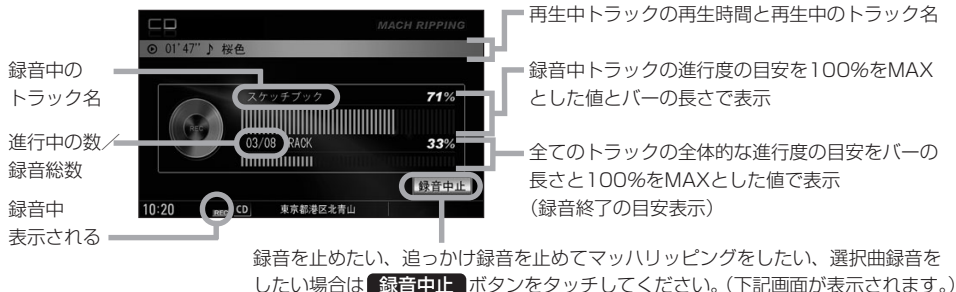
- 本機の故障、誤動作または不具合によりハードディスクに記録できなかったデータ（録音内容など）、消失したデータ、ハードディスク内の保存データについては補償できません。
- 録音中に車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたり、本機に振動や衝撃を加えると録音したデータの消失・故障の原因となる恐れがあります。

- 本機で録音したCDは、重複して録音することはできません。
- 自動録音に設定した場合、すでにMusic Rack(HDD)に録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合は自動録音は開始されません。（曲は再生されます。）未録音の曲を録音したい場合は手動で録音モード、録音方法を選択して録音を開始させてください。
- 自動録音中に録音を中止して他のモードにし、CDモードに戻すと1曲も録音されていない場合は再度自動録音が始まります。
- エンジンスイッチO(OFF)やオーディオをOFF状態にしても前回設定した手動・自動と録音音質（ 46ページ）は保持されます。
- 本機への録音は音楽CDのみです。MP3/WMAファイル、DVD、SDカード、USBメモリデバイス、iPod、テレビ、ラジオなどから録音することはできません。
- 録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 車のエンジンスイッチをI(ACC)の状態で録音しているときに、II(ON)にしてエンジンをスタート(始動)すると、録音したデータが消失する恐れがあります。また、その他のデータがこわれる場合もあります。
- ノンストップCD(曲と曲の間の無音部分が無いCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音するCDに依存しますのでご了承ください。
- 録音の開始時や、終了時には、約2秒間音楽や音声が停止することがあります。
 - マッハリッピング時(音楽CDを録音中)にラジオなどに切り替えた場合、録音が終了すると終了を知らせるメッセージが約3秒間表示されます。
- 録音中、モードを切り替えても、録音は継続されます。また、オーディオをOFF状態にしても録音は継続されます。
- 録音途中に録音を停止する場合は次曲を3秒ほど再生してください。
 - ※ 音楽の終了と同時に録音を終了した場合は、正常に録音できていない場合があります。
- Music Rack(HDD)の録音可能時間がCDの演奏時間より短い場合は録音されません。
- Music Rack(HDD)の使用状況を確認するには「**HDDの情報を知る**」53ページ(“音楽データ”部分)を参照してください。
- 音楽CDの記録面の傷、汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。また、コピーコントロールCDにつきましては正常に録音、再生できない場合があります。
- 追っかけ録音中の再生音はMusic Rack(HDD)に録音された音のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- 追っかけ録音中に録音が終了した場合は、最後に再生していたトラックの先頭からCD再生を開始します。
- 次の場合、録音中のトラック(曲)を削除します。
 - 録音中に車のエンジンスイッチを変更した場合
 - 録音中にCDを取り出した場合

録音する(2)

■本機は初期設定が自動録音に設定されているため未録音のCDを挿入すると、同時に追っかけ録音を開始します。

未録音(録音モードが追っかけ録音)の場合(例)



※自動録音と手動録音の設定のしかたは「録音方法の手動／自動を選択する」46、47ページを参照してください。手動録音の場合、録音速度(録音モード)の選択や録音したい曲をお好みに選択することができます。[P.50 (下記)~52ページ

録音速度を選択し、録音方法／録音音質を選択する

録音の速度には、音楽を再生させながら録音する“追っかけ”^{☆1}と通常の最大14倍速で録音するマッハリッピング^{☆2}があります。

☆1：マッハリッピングに比べて録音速度は低下します。

☆2：録音中、音楽は再生できません。(無音となります。)

1 CDモード時、画面の **●録音** ボタンをタッチする。

：録音設定画面が表示されます。

CDモード画面(手動録音設定時)



2 画面の録音速度 (マッハリッピング／追っかけ ボタン)を選択する。

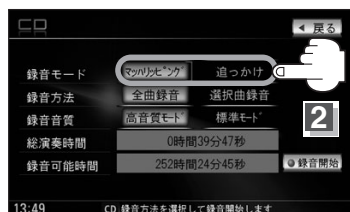
■ マッハリッピング ボタンを選択した場合

：最大14倍の速さでディスクが回転して、録音します。
(マッハリッピング中CDモードでは音楽は再生できません。)

■ 追っかけ ボタンを選択した場合

：音楽を再生させながら最大10倍の速さで録音します。

録音設定画面(例)



3

録音方法、録音音質を選択します。

■ “録音方法” (全曲録音／選択曲録音) を選択する場合

全曲録音するか、お好みの曲のみ録音するかを設定することができます。

☐ **全曲録音** ボタンをタッチすると…

：CD内にある全ての曲の録音となります。

ただしHDD (Music Rack) の容量が足りない場合

全曲録音 ボタンは選択できません。

※録音順はアルバムに収録されている通りとなります。

☐ **選択曲録音** ボタンをタッチすると…

：録音曲選択画面が表示されます。

1. 録音したいトラックをタッチする。

録音曲選択画面



トラックをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

☑：このトラックを録音します。

☐：このトラックは録音しません。

※すでに録音済のトラックは選択できません。(✓表示有／トラックは灰色表示)

2. **決定** ボタンをタッチする。

録音曲選択画面



：録音したいトラックが確定(決定)され、録音設定画面に戻ります。

※**戻る** ボタンをタッチした場合は選択は解除(無効)となり録音設定画面に戻ります。



アドバンス

●Music Rackに録音される順番はアルバム(CD)に収録されている通りとなります。

●タイトル情報が収録されていない場合、リスト表示は“Trackxxx”と表示されます。

※xxにはトラック番号の数字が入ります。

●次ページがある場合、 / ボタンタッチでページ戻し／送り表示をします。

■ “録音音質” (高音質モード／標準モード) を選択する場合

音の質(容量)を選択することができます。

☐ **高音質モード** ボタンをタッチすると…

：音の質は良くなりますがデータ容量が大きくなります。

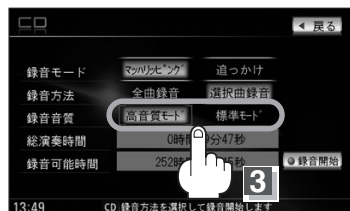
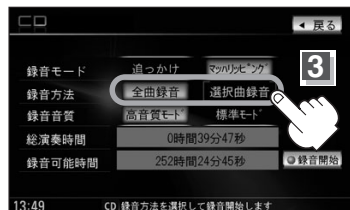
※標準モードに比べて録音できる曲数が少なくなります。

☐ **標準モード** ボタンをタッチすると…

：音の質は下がりますがデータ容量が小さくなります。

※高音質モードに比べて録音できる曲数が多くなります。

録音設定画面



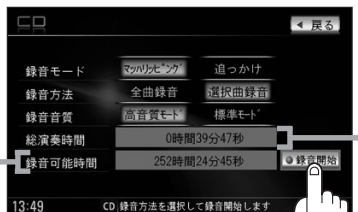
録音する(3)

4

画面の **録音開始** ボタンをタッチする。

- 手順 **2** (50ページ) で **マッハリッピング** を選択している場合はメッセージと録音状態を示す情報を表示し、全曲または録音曲選択画面(51ページ)で選択した曲の録音を無音にて開始します。
- 手順 **2** (50ページ) で **追っかけ** を選択している場合はアーティスト名/トラック名と録音状態を示す情報を表示し、全曲または録音曲選択画面(51ページ)で選択した曲の1曲目から順に再生しながら録音します。

総演奏時間が確認できます。



本機への録音可能時間が確認できます。

4

録音モードが
マッハリッピングの場合(例)

録音中の情報を確認
することができます。

録音中のトラック名

進行中の数/録音総数

録音中表示される



録音中トラックの進行度の目安を
100%をMAXとした値とバーの
長さで表示

録音を止めたい場合は
録音中止 ボタンをタッチして
ください。

全曲録音または選択曲録音画面で選択
した全てのトラックの全体的な録音の進
行度の目安をバーの長さで100%をMAX
とした値で表示(録音終了の目安表示)



アドバンス

- 録音(REC)をしながら他のモードにすることができます。

現在地 ボタンを押す。: ナビゲーション画面を表示します。

※ただし、マッハリッピング中ナビゲーションのメニュー等の操作は限定され
ます。

さらに、録音時間は通常より長くなります。

AUDIO ボタンを押す。: **FM/AM** / **Digital TV** / **Music Rack** / **SD** / **iPod** / **USB**

／ **VTR** ボタンをタッチ

してそれぞれのモードにすることができます。

※マッハリッピング時に他のモードを表示させている場合、録音(REC)が終了すると画面に終了を知らせ
るメッセージが約3秒間表示されます。

- マッハリッピング中に他のモードにしたとき、再度マッハリッピング画面に戻すには…

AUDIO ボタンを押す→ **CD** ボタンをタッチします。

- 録音中にボタンを **録音中止** タッチすると録音を中止できます。

※録音を中止してもすでに本機(HDD)に録音したトラックは本機(HDD)に保存されます。

- CDモードのとき、マッハリッピングが完了すると、録音前に再生していた曲の続きから再生を始めます。

- CDモードのとき、追っかけ録音が完了すると、録音の最後に再生していた曲の頭から再生を初めます。

※追っかけ録音中にエンジンスイッチを“0”にした場合、次に電源を入れると録音が完了している曲の次
の曲から再生を始めます。

- Music Rack(HDD)への録音可能時間の情報を知ることができます。

HDD 「**HDDの情報を知る**」 53ページ

HDDの情報を知る

本機(HDD)の使用状況を確認することができます。

1 オーディオモード画面でパネルの

MENU ボタンを押す。

： AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **データ管理** ボタンを タッチする。

： データ管理画面が表示されます。



AV MENU画面につきましてはP.22ページを参照してください。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)

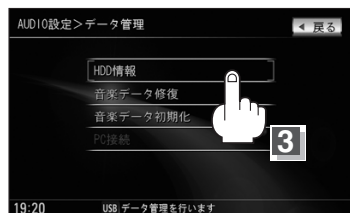


2-2

3 画面の **HDD情報** ボタンをタッチする。

： HDD情報画面が表示されます。

データ管理画面



4 HDD(本機)の使用状況を確認したら…

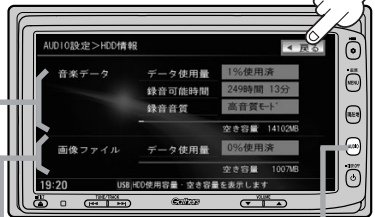
画面の **戻る** ボタンをタッチまたは
パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、**AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

※工場出荷時や音楽データ初期化時は“0%使用”と表示され、使用量が1%以下の場合や1度でも曲を録音した場合は“1%未満使用済”と表示されます。

音楽データ
(Music Rack)
の使用情報

HDD情報画面(例)



4 **AUDIO** ボタン

画像データファイルの使用情報

データ管理(2)

音楽データの修復をするには

Music Rack(HDD)に録音(REC)した音楽データが見当たらない、録音(REC)中にエンジンスイッチを操作してしまいHDDに正常に録音できなかった場合などのときに操作するとデータを修復できる場合があります。

※Music Rack/SD/USB再生中の場合は、再生は停止されます。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))

1

オーディオモード画面でパネルの
[MENU] ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**[MENU]** ボタンを2回押します。



1 **[MENU]** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **データ管理** ボタンを
タッチする。

：データ管理画面が表示されます。

※走行中、これ以降の操作はできません。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



2-2



AV MENU画面につきましてはP22ページを参照してください。

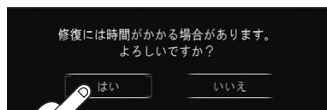
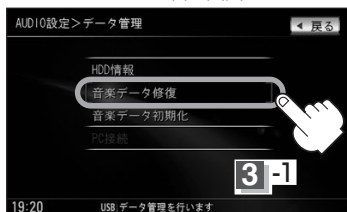
3

画面の **音楽データ修復** ボタンをタッチし、
はい ボタンをタッチする。

：修復作業が開始されます。

※修復作業は曲数が増加するにわたって長くなります。修復できない場合もありますのでご注意ください。

データ管理画面



3-2

4

修復が終わったら…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **[AUDIO]** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **[AUDIO]** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

音楽データの初期化をするには

Music Rack (HDD)に録音 (REC)した音楽データを初期化することができます。

※Music Rack/SD/USB再生中の場合は、再生は停止されます。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))

1 オーディオモード画面でパネルの [MENU] ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は[MENU] ボタンを2回押します。



1 [MENU] ボタン

2 画面の [AUDIO設定] の [データ管理] ボタンを タッチする。

：データ管理画面が表示されます。

※走行中、これ以降の操作はできません。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



2-2

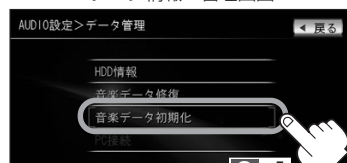
 AV MENU画面につきましては、P.22ページを参照してください。

3 画面の [音楽データ初期化] ボタンを タッチする。

：今まで録音した音楽データが消えてもいいかどうかのメッセージが表示されるので [はい] ボタンを画面にしたがって選択します。

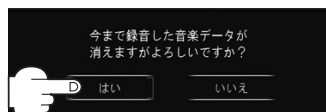
※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ず音楽データの初期化を行ってください。

データ情報・管理画面



3-1

3-2



4 初期化が終わったら…

画面の [戻る] ボタンをタッチまたはパネルの [AUDIO] ボタンを押す。

：[戻る] ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、[AUDIO] ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。



お願い

- 初期化中(修復中)は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたり I (ACC)の状態から II (ON)にしてエンジンを始動したり電源を切ったり)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で「はい」を選択すると、お客様の音楽データは消去され、二度と復帰しません。

録音設定
データ管理

〔音楽データの修復〕／〔音楽データの初期化〕

データ管理(3)

■本機にはあらかじめ商用CDタイトルのアルバム情報データベースが収録されており、CD再生時のタイトル情報表示や、CD録音時に自動でアーティスト名・タイトル名などを付けることができるので、入力の手間をはぶくことができます。

※全てのタイトル名の取得および正確性を保証するものではありません。

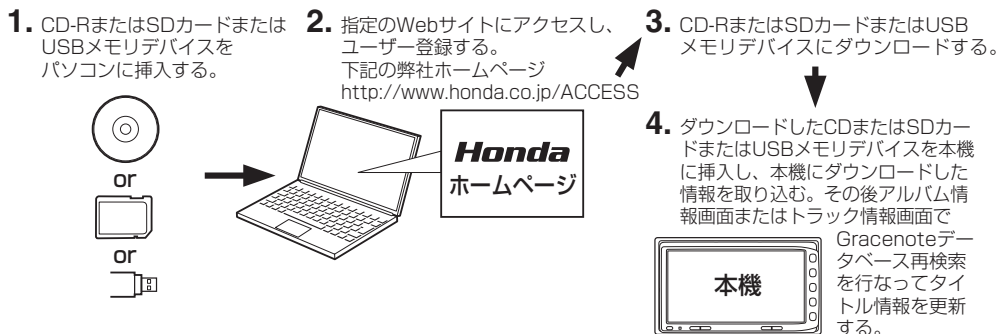
また、MCDBデータベースを利用することによりCD録音した曲のミュージックエスコート(曲調にあわせた再生リストへのふり分け)が可能となりました。

Gracenoteデータベースタイトル情報の更新の流れについて

本機に収録されているGracenoteデータベースはアップデートすることができます。アップデートする方法はローカルアップデート(定期更新)とカスタムアップデート(個別更新)の2種類があります。

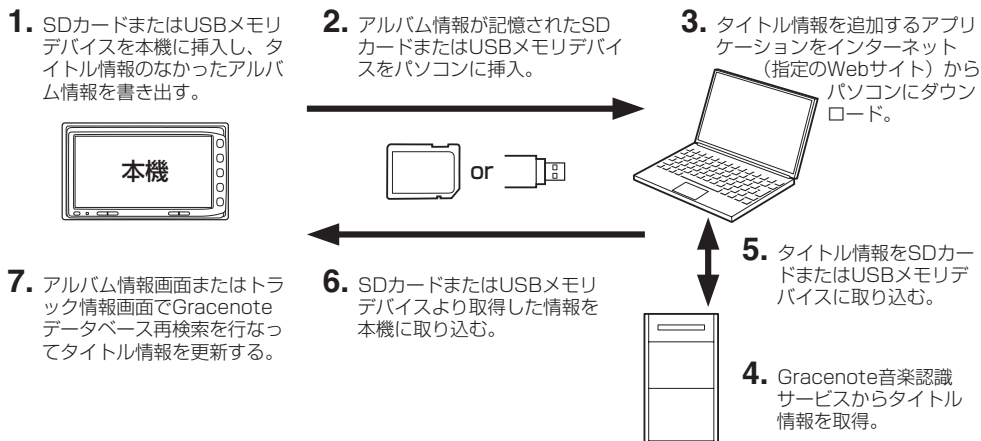
■ ローカルアップデート(定期更新)

HondaのWebサイトに年に数回、定期的にアップデートされるデータを使って、本機に収録されているGracenoteデータベースを最新の情報に更新することができます。



■ カスタムアップデート(個別更新)

本機のGracenoteデータベースにヒットしない新譜などのアルバムや、異なったタイトル情報が検索されたアルバムの情報を、パソコンを使用してGracenote音楽認識サービスより個別に取得できます。





- ローカルアップデート(定期更新)のデータ更新により本機のデータベースを最新の状態にすることができます。
- ローカルアップデート(定期更新)はローカルアップデート専用アプリケーションを使用してダウンロードしたデータをSDカード／USBメモリデバイスに書き込むことができます。
- CD-Rに書き込む場合はNVDATAフォルダを作成し、ダウンロードしたデータをNVDATAフォルダに入れてください。
- CD-Rに書き込む際のフォーマット形式はJolietにしてください。ディスクはファイナライズ処理してください。(Romeo／ISO9660／バケットライト方式などは不可)
- カスタムアップデート(個別更新)は間違ったタイトル情報が表示されたときに正しいタイトル情報を取得する際にも使用できます。
- カスタムアップデート(個別更新)はカスタムアップデート専用アプリケーションを使用して、本機から書き出したデータの検索ができます。
- 別売のUSB接続コード&BeatJamに付属のCD-ROMをセットアップすることによりBeatJamの利用が可能となります。パソコン上での音楽データの管理をより快適にします。
[🔍] 「データ管理」64、65ページ
- Gracenoteデータベースよりタイトル情報を入力するにはSDカードまたはUSBメモリデバイス8MB以上、パソコン100MB以上の空き容量、インターネット接続環境(64kbps以上推奨)、カードリーダーライターなどインストールするにあたり動作環境をととのえていただく必要があります。
- Gracenoteデータベースの更新でローカルアップデートとカスタムアップデートの操作手順(操作方法)につきましては指定Webサイトにアクセスし、ユーザー登録をお願い致します。^(注)
ローカルアップデート(定期更新)専用アプリケーション、カスタムアップデート(個別更新)専用アプリケーションは指定ウェブサイトから入手できます。
(注) 操作方法につきましては、“www.honda.co.jp/ACCESS”をご参照ください。

□ MCDBについて

MCDBは株式会社メディアクリックの登録商標です。

MCDBデータベースはメディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースです。

MCDBは、メディアクリックが独自に楽曲を選別したもので、楽曲の作曲家・作詞者等により作成・保証されたデータベースではありません。

- MCDBサービスは、ユーザーの趣味・趣向を100%保証するものではありません。
- MCDBサービスは、個人の使用のみに使うことを許可します。
- MCDBサービスを、商用として利用することは、いかなる場合でも禁止します。
- 本製品に格納されたMCDBデータベースは、第三者に譲渡・コピー・転送することを禁止します。
- お客様が、上記同意事項に違反した場合には、弊社は、MCDBサービスの利用を終了させていただくことができます。
- MCDBの著作権は、株式会社メディアクリックが有しており、著作権法、関連諸法規、関連国際条約などで保護されています。

データ管理(4)

Gracenoteデータベース検索(オンライン検索)を利用して本機に収録されていない(アーティスト名・タイトル名などの)情報をアップデートすることができます。

Gracenoteデータベースの更新をするには

※Music Rack/SD/USB再生中の場合は、再生を停止する必要があります。

1

オーディオモード画面でパネルの

(MENU) ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**(MENU)** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



1 **(MENU)** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **Gracenoteデータベース** ☆
ボタンをタッチする。

：Gracenoteデータベース画面が表示されます。

☆：走行中/録音中は選択できません。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



2-2



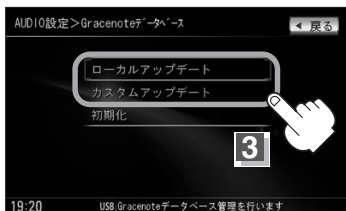
アドバイス

AV MENU画面につきましては **22** ページを参照してください。

3

アップデートの方法(**ローカルアップデート** /
カスタムアップデート ボタン)を選択する。

Gracenoteデータベース画面



アドバイス

- ローカルアップデートとはHondaのホームページに定期的にアップデートされるGracenoteデータベース更新データを本機でアップデートする方法です。

59 ページへ進む

- カスタムアップデートとはGracenoteデータベース検索で本機に収録されていないCDのタイトル情報を個別にアップデートする方法です。異なったタイトル情報が検索された場合もこの方法によって個別に再取得が可能です。

60 ~ **62** ページへ進む

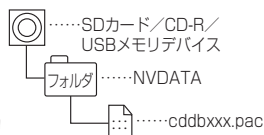
■ ローカルアップデート ボタンをタッチした場合



アドバイス

ローカルアップデートボタンをタッチする前に…

1. ローカルアップデート用専用アプリケーションをパソコンにダウンロード
 2. データベースファイルをパソコンにダウンロード
 3. SDカード/USBメモリデバイスの場合、ローカルアップデート専用アプリケーションを使用して半角でNVDATAフォルダを作成/
CD-Rの場合、手動でメディアに半角でNVDATAフォルダを作成
 4. パソコンにダウンロードしたデータベースファイルをフォルダの中に移動
 5. CD-RまたはSDカードまたはUSBメモリデバイスを本機に挿入または接続
- ※SDカードは使用前に本機で初期化してください。[P] 318、319ページ

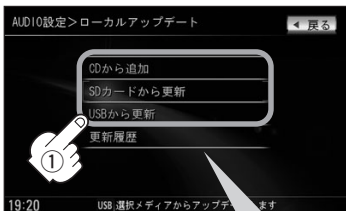
録音設定
データ管理

〔Gracenoteデータベースの更新(ローカルアップデート)〕

① 追加する方法(**CDから更新** / **SDカードから更新** / **USBから更新** ボタン)を

タッチする。 ※USBメモリデバイスの接続につきましては302ページを参考にしてください。

更新してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチすると、選択した方法で本機に情報を取り込みます。

**注意**

更新中は他の操作(モード切替/車のエンジンスイッチO(OFF)/電源を切る/CD・SDカード・USBメモリデバイスを抜くなど)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。

更新履歴 ボタンをタッチすると、CD-RまたはSDカードまたはUSBメモリデバイスからアップデートしたGracenote データベースのバージョンを確認することができます。

次ページがある場合、
 ボタンタッチで
 ページ戻し/送り表示

バージョン更新履歴確認画面



工場出荷時のバージョンを表示

お客様が変更されたデータベースのバージョンを表示

Gracenoteデータベース検索でここに表示されていないバージョンをアップデートしてください。確認画面に表示できるデータベースのバージョン情報は200個です。それ以上はバージョン情報の古い順に上書き表示されます。

② 本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で

データベース再検索 ボタンをタッチしてタイトル情報を更新してください。

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

[P] 124ページ手順 **1** ~ **3** で **アルバム編集** ボタンまたは、132ページ手順 **1**、**2** で **トラック編集** ボタンをタッチし [O] **データベースから再検索するときは…**]129、135ページ参照



アドバイス

- ローカルアップデートは情報の取り込みのみを行ないます。
- CD-Rに書き込む際のフォーマット形式はJolietにしてください。ディスクはファイナライズ処理をしてください。(Romeo/ISO9660/バケットライト方式などは不可)

データ管理(5)

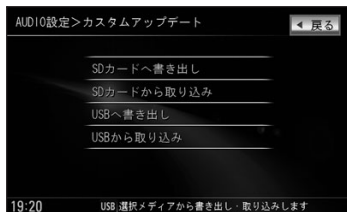
■ カスタムアップデート ボタンをタッチした場合

※SDカード／USBメモリデバイスを本機に挿入／接続しておく必要があります。

📖 別冊の取扱説明書 ナビゲーション編「SDカードを入れる／取り出すには」42ページ

📖 「USBメモリデバイスを本機に接続するには」302ページ

カスタムアップデート画面



● データの書き出しをする。



新規アルバム表示または、まちがったタイトル表示のときにデータの書き出しを行ないます。

□ 新規アルバム(No title表示)の場合

1. 右記手順①へ進んでください。

□ まちがったタイトルを表示(ミスヒット)している場合

● データベースに複数のタイトル情報があるときは…

1. Music Rackモードでデータベース再検索をする。

📖 124ページ手順 **1** ~ **3** で **アルバム編集**

ボタンまたは、132ページ手順 **1**、**2** で

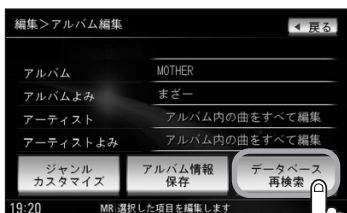
トラック編集 ボタンをタッチし、

「**□ データベースから再検索するときは…**」129、

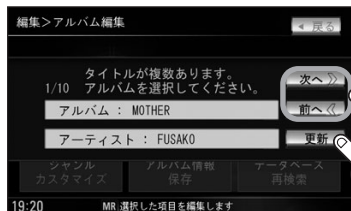
135ページ参照し **データベース再検索** ボタン

をタッチする。

アルバム編集画面の場合



2. 表示させたいアルバム名を **次へ** / **前へ** ボタンをタッチして検索し、希望のアルバム名が見つかった場合は **更新** ボタンをタッチする。



：タイトル情報が更新されます。

3. 62ページ手順 **5** へ進んでください。

※手順 2 のとき希望のアルバム名がなかった場合は61ページ

「**・ データベースにタイトル情報がないときは…**」へ進んでください。

● データベースにタイトル情報がないときは…

※Music Rack再生中の場合は、再生を停止する必要があります。

1. Music Rackを再生させて **編集** ボタンをタッチし、 **曲管理** ボタンをタッチする。



：曲管理画面が表示されます。

2. まちがった情報のアルバムをタッチし、**アルバム編集** ボタンをタッチする。

：アルバム編集画面が表示されます。

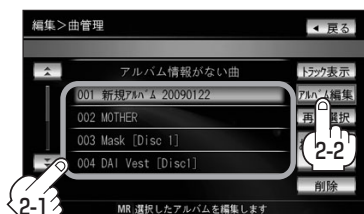
3. **アルバム情報保存** をタッチする。

：まちがったアルバム情報を一旦本機(HDD)に保存します。

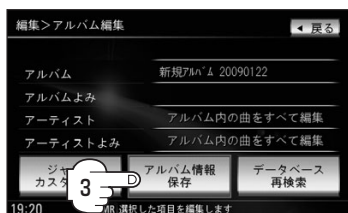
4. 58ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作し、手順 **3** のとき **カスタムアップデート** ボタンをタッチする。

5. 下記手順①へ進んでください。

曲管理画面



アルバム編集画面



- ① **SDカードへ書き出し** / **USBへ書き出し** ボタンをタッチする。

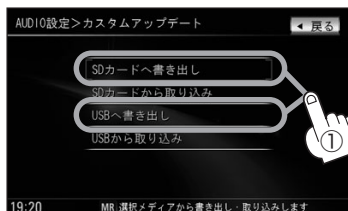
：書き出しをしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチするとSDカード／USBメモリデバイスにタイトル情報のなかったアルバム情報を書き出します。

- ②本機よりSDカード／USBメモリデバイスを取り、パソコンに挿入する。

- ③パソコンからGracenote音楽認識サービスに接続し、タイトル情報を取得する。

- ④取得した情報をSDカード／USBメモリデバイスに取り込む。

- ⑤SDカード／USBメモリデバイスをパソコンより外し、本機に挿入／接続する。



データ管理(6)

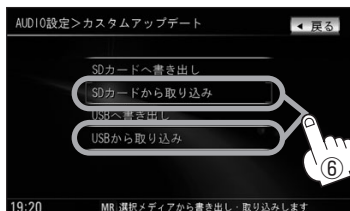
●データの取り込みをする。

※カスタムアップデート画面を表示している場合は下記手順⑥へ進んでください。

表示していない場合は58ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作し、手順 **3** のとき **カスタムアップデート** ボタンをタッチする。

⑥ SDカードから取り込み / USBから取り込み ボタンをタッチする。

：取り込んでもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチするとSDカードまたはUSBメモリデバイスより取得した情報を本機に取り込みます。



⑦本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で **データベース再検索** ボタンをタッチしてタイトル情報を更新してください。

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

124ページ手順 **1** ~ **3** で **アルバム編集** ボタンまたは、
132ページ手順 **1**、**2** で **トラック編集** ボタンをタッチし、
「**データベースから再検索するときは…**」129、135ページ参照

アルバム編集画面の場合



アドバンス

- **Gracenoteデータベースタイトル情報の更新の流れについて** 54ページもご参照ください。
- **↑ / ↓** ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

5

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、**AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

Gracenoteデータベースのデータを初期化するには

Gracenoteデータベースのデータを初期化することができます。

1 オーディオモード画面でパネルの

MENU ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **Gracenoteデータベース** ☆

ボタンをタッチする。

：Gracenoteデータベース画面が表示されます。

☆：走行中／録音中は選択できません。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



2-2



アドバイス

AV MENU画面につきましてはP.22ページを参照してください。

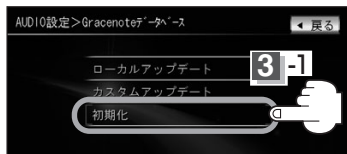
3 画面の **初期化** ボタンをタッチする。

※Music Rack／SD／USB再生中の場合は、再生を停止する必要があります。

：今までアップデートしたデータを消してもいいかどうかのメッセージが表示されるので**はい** ボタンを画面にしたがって選択するとデータを消去し、Gracenoteデータベース画面に戻ります。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ずデータの初期化を行なってください。

Gracenoteデータベース画面



4 設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。



お願い

- 初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたりI(ACC)の状態からII(ON)にしてエンジンを始動したり電源を切ったり)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で“はい”を選択すると、お客様の今までアップデートしたデータ(ローカルアップデート/カスタムアップデート)は消去され、二度と復帰しません。

データ管理(7)

BeatJamを利用する

BeatJamとは音楽データをノートパソコン上で操作するためのソフトウェアです。

BeatJamは株式会社ジャストシステムが提供する音楽データ管理システムです。

ノートパソコン上での音楽データの管理をより使いやすくし、機敏で快適な操作を行なうことができます。

※パソコンを本機に接続し、BeatJamを利用するには別売のUSB接続コード&BeatJamを使用します。(P.19ページおよび70ページ手順 6)

- BeatJamは株式会社ジャストシステムの著作物であり、BeatJamにかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- BeatJamは株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機はATRAC ADに対応しています。
- ATRAC ADはソニー株式会社の商標です。

ATRAC AD
AUDIO DEVICE

BeatJamでできること

●曲を取り込む

音楽CD／パソコン内の音楽ファイル／音楽配信サイトから購入した曲をパソコンに取り込むことができます。

●曲を整理／分類する

取り込んだ曲は、アーティスト名／アルバム名／ジャンル名など、さまざまな情報を付けることができ、情報を元に、検索したりグループに分類したりと、集めた曲をきちんと整理することが可能です。

●パソコンで音楽を聴く

聴きたい曲を選んで、かんたんに音楽を楽しめます。音楽CDをそのまま聴くこともできます。

●本機に曲を転送／本機から曲を転送

BeatJam上で管理している音楽ファイルを本機に転送したり、本機にリッピング(録音)した曲をパソコンに転送することができます。

●音楽CDを作成する

パソコン画面を見ながら曲を選んでいくだけの操作で、好きな曲を集めたオリジナルCDをかんたんに作ることができます。

●作業の流れ

●BeatJamに曲を登録

- ・パソコン内の音楽ファイルを取り込む
- ・音楽CDから録音
- ・音楽配信サイトからダウンロード

●曲の管理や再生

- ・曲情報の編集
- ・好きな曲を集めてプレイリストを作成
- ・ジャケット写真を表示させる

●曲を転送

- ・BeatJam上で管理している曲を本機に転送する
- ・本機の音楽ファイルを取り込む



※VXH-098CVU内の曲も本機に転送可能です。

BeatJam使用上のご注意



走行中は安全のため、接続や取り外し、データの移動／転送などの操作は絶対に行なわないでください。

- エンジンのスイッチをI (ACC) (エンジンを休止したまま) で長時間使用しないでください。車のバッテリーがあがったり本機の故障の原因となります。ノートパソコンと本機を接続し操作する場合は、必ずエンジンがかかった(車のエンジンスイッチII (ON)) 状態で停車中に行なってください。
※オーディオモードは終了(OFF) 状態にしてください。
※作業(操作) 中は、排気ガスなどの換気には十分注意してください。また、接続(操作) 中はナビゲーション／オーディオの全ての機能が使用できません。
- BeatJamは以下のOS(日本語版および32bit版) に対応しています。
 - ・Windows XP(SP2以降)
 - ・Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate
- ノートパソコンと本機の接続には専用ソフトウェア(別売のUSB接続コード&BeatJamに付属のCD-ROMでBeatJam) をセットアップして使用します。BeatJam以外のアプリケーションで転送されても正常に動作しません。
- 本機とノートパソコンのBeatJam上との間で移動／転送できるデータは下記の形式の音楽データです。
転送可能なファイル : ATRAC3(.OMA)/ATRAC3plus(.OMA)
直接転送できないファイル(*) : WAV/MP3/WMA/AAC
* : ノートパソコン上にある音楽ファイルから本機へUSB接続を使用してデータを転送する場合は、BeatJamを使用してGracenote音楽認識サービスより曲情報の再取得を行なってください。(そのまま転送すると、選曲などの一部機能が使用できません。) Gracenote音楽認識サービスより曲情報の取得ができないファイルは、BeatJam上で車のアイコン(🚗) が表示されません。
- BeatJamでのUSB接続転送終了後も本機へのデータベースの更新に時間がかかります。“更新が完了しました” と画面に表示されるまで、絶対にお車のエンジンスイッチを変更しないでください。
- ノートパソコンと本機のデータ転送中はエンジンスイッチを変更したりUSBコードA/Bを抜いたりしないでください。音楽データがこわれて再生できなくなる場合があります。
- BeatJamを利用するための接続環境につきましては別売のUSB接続コード&BeatJamに付属のCD-ROMに付属の **BeatJam動作環境** を参照してください。
- ノートパソコンと本機の接続には必ず別売のUSB接続コード&BeatJamに付属のUSBコードAとUSBコードBを使用してください。市販のUSB延長ケーブルなどで延長はしないでください。
[P.19ページ]
- USB接続する場合、USB2.0対応のノートパソコンで接続を行なうことをおすすめします。
※USB1.1対応のノートパソコンではUSB2.0に比べ転送に時間がかかります。
- 一度に多くの音楽データを本機からノートパソコンに移動(アップロード) したり、ノートパソコンから本機に転送(チェックアウト) したりすると時間がかかる場合がありますのでアルバム単位で移動／転送することをおすすめします。また、本機の音楽データをパソコンに移動(アップロード) すると本機から音楽データは削除されます。
- 音楽データは暗号化されているため万一、本機に故障など発生しても音楽データは復元／修復できません。したがって大切な音楽データはノートパソコンでのバックアップ(アップロード) をお願いします。
- 音楽の編集／削除は、必ず本機またはBeatJamを使用して行なってください。

データ管理(8)

ノートパソコンへ接続するには

ノートパソコンの音楽データを本機へ転送(チェックアウト)し、機能(選曲モードなど)を正常に使用するには別売のUSB接続コード&BeatJamに付属のCD-ROM(BeatJam)をインストールし、Gracenote音楽認識サービスより曲情報の再取得をする必要があります。

詳しくはCD-ROMに付属のBeatJamの説明書を参照してください。

●車外でやること

1 CD-ROMをノートパソコンにセットアップする。

※BeatJamを利用できる環境にします。

2 ノートパソコンへ音楽CDをリッピング(録音)またはノートパソコンにあるファイルを取り込む。

※BeatJamで直接CDからGracenoteデータベースより曲情報を取得し、ノートパソコンにリッピング(録音)した音楽データは手順 **3**、**4** の操作は必要ありません。

手順 **5** (70ページ) へ進んでください。

(ジャケット写真を付加する場合は68、69ページを参照してください。)

3 転送したい音楽データをGracenote音楽認識サービスにより情報を再取得する。

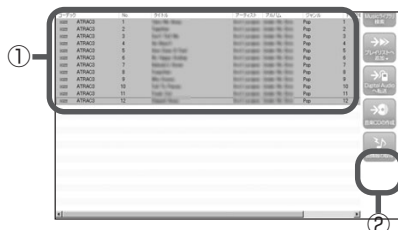
①再取得したい情報(タイトル)を選択する。

②「曲情報の取得」をクリックする。

：曲情報の取得結果のダイアログボックスが表示されます。

※Gracenoteサーバーにアクセスしますので、インターネットに接続されている必要があります。

BeatJam画面
(パソコン画面 (例))



4

候補が複数ある曲で、候補を選択したい場合は、

曲情報の取得結果のダイアログボックス
(パソコン画面 (例))

①曲を選択する。

②「候補の選択(E)」をクリックする。

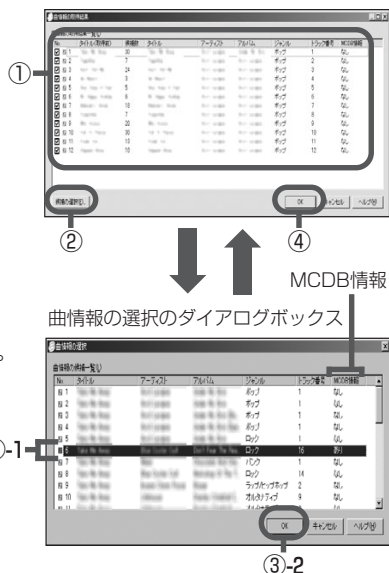
：曲情報の選択のダイアログボックスが
表示されます。

※複数の候補が有る場合、「MCDB情報」が
「あり」の候補を選択すると本機の
ミュージックエスコート機能を使うことが
できます。

③目的の情報を選択し、 **OK** を
クリックする。

：曲情報の選択のダイアログボックスが閉じます。

④ **OK** をクリックする。



録音設定
データ管理

(BeatJam(PC接続))



アドバイス

コードデッキ

- ATRAC3
- ATRAC3
- ATRAC3

…曲情報が取得できている

…MCDB情報が取得できている

曲情報の取得ができている場合、コードデッキ () アイコンのとなりに車と音符のマークが表示されます。

※車マークが付いていない曲を転送した場合、本機の機能を正常に使用することはできません。また音符マークが付いていない場合はMCDB情報がとれていないためミュージックエスコート機能を使うことはできません。

※曲情報の取得は必ずしも正しいデータが取得できるわけではありません。Gracenoteサーバーのデータベースや音楽ファイルの状態に依存します。

データ管理(9)

■ ジャケット写真を付加する場合

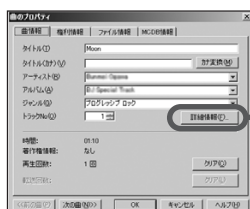
①付加したい曲またはアルバムを選択し、右クリックをする。

②曲の場合は「曲のプロパティ」をクリックし、
アルバムの場合は「アルバム情報の編集」をクリックして
「詳細情報」をクリックする。

曲の場合(例)



「曲のプロパティ」



「詳細情報」

アルバムの場合(例)



「アルバム情報の編集」

③ジャケット写真になる画像を検索します。

「ファイルから選択」または「画像一覧から選択」をクリックする。

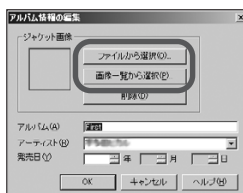
曲の場合(例)

曲の詳細情報のダイアログボックス



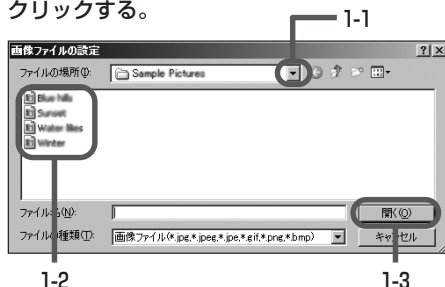
アルバムの場合(例)

アルバム情報の編集のダイアログボックス



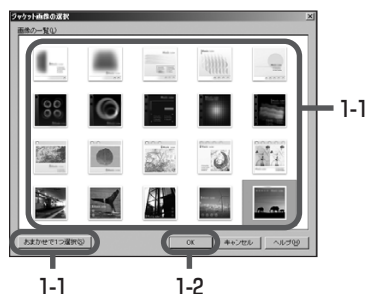
□ ファイルから選択した時は…

1. 画像を選択し、**開く(O)**をクリックする。



□ 画像一覧から選択した時は…

1. 画像を選択し、**OK**をクリックする。



- ④ 選択した画像が表示されるので付加する場合は **OK** をクリックする。

曲の場合(例)



アルバムの場合(例)



アドバイス

- ジャケット写真は1曲ごとに設定することができます。
- 音楽CDを録音し、Music Rackモードで再生した場合はジャケット写真は表示されません。ジャケット写真を表示させるには本機の音楽データをパソコンに移動(アップロード)してBeatJamを使用して付加し、本機へ転送(チェックアウト)する必要があります。
- ジャケット写真は、Music Rackモードでトラック情報表示時に表示されます。[P.107ページ]

Music Rackモード
ジャケ写表示有の場合

付加したジャケット写真はトラック情報を表示させている場合に表示されます。

Music Rackモード
ジャケ写表示無の場合

ジャケット写真が付加されていない場合は「No image」と表示されます。

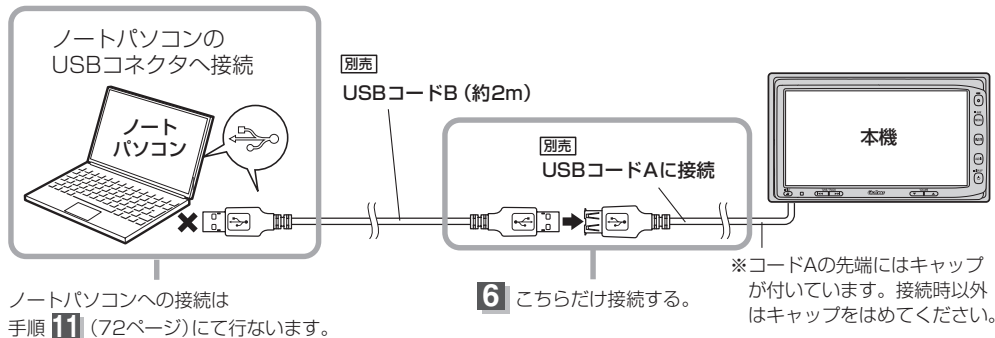
データ管理(10)

●車内でやること

5 車内へノートパソコンを持ち込む。

▲車のエンジンスイッチⅡ(ON)の状態ですべて安全な場所に停車して行なってください。

6 別売のUSB接続コード&BeatJam★に付属のUSBコードBとUSBコードAを接続する。(図★:19ページ)



ノートパソコンと本機の接続には必ず別売のUSBコードAとUSBコードBを使用してください。市販のUSB延長ケーブルなど指定以外のコードを使用されますとパソコンや本機の故障の原因となります。

7 オーディオモードのとき、パネルの電源ボタン(⏻)を押す。 ：オーディオモードを終了させます。



8 パネルのMENUボタンを押しAV MENU画面を表示させ、画面のAUDIO設定のデータ管理☆ボタンをタッチする。 ：データ管理画面が表示されます。 ☆：走行中／録音中は選択できません。

AV MENU画面につきましては図22ページを参照してください。

AV MENU画面



9

画面の **PC接続** ボタンをタッチする。

：ユーザー同意画面が表示されます。



アドバイス

PC接続 ボタンを選択し操作するには以下の条件がそろう必要があります。

1. 停車中であること(パーキングブレーキをかけていること)
2. オーディオモードでオーディオOFFになっていること
3. 別売のUSBコードBとUSBコードAが接続されていること
4. 録音中でないこと



お願い

接続中はナビゲーション/オーディオ機能は使用できません。また、車のエンジンスイッチを変更したり走行したりしないでください。

10

ユーザー同意画面が表示されるのでメッセージを確認し、画面の **はい** ボタンをタッチする。

：転送できるフォーマットのメッセージ→コード確認中のメッセージを順に表示します。

※ユーザー同意画面で **いいえ** ボタンをタッチすると手順 **9** へ戻ります。

アドバイス

ノートパソコンに別売のBeatJamをセットアップしてノートパソコンを起動させておく必要があります。[P.64ページ]

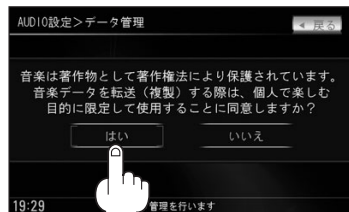
本機側の準備はこれで完了です。

データ管理画面

録音設定
データ管理

(BeatJam(PC接続))

ユーザー同意画面

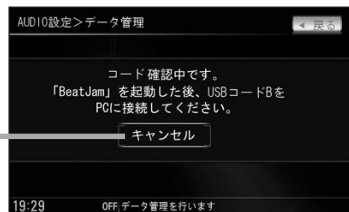


10

転送できるフォーマットのメッセージ

本製品にPCから音楽データを転送する場合は、
本機指定の別売「BeatJam」をご利用ください。

ケーブル確認中のメッセージ



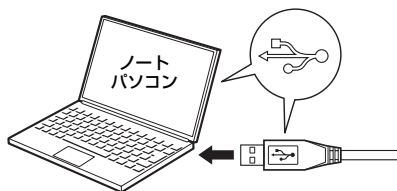
キャンセルしたい場合は **キャンセル** ボタンをタッチするとPC接続は中止できます。

データ管理(11)

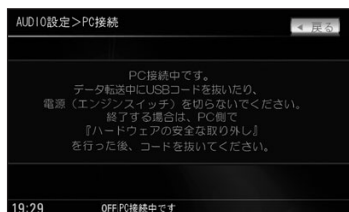
11

別売のUSBコードBのもう片方( 側)をノートパソコンに接続する。

：本機ではPC接続中画面が表示され、接続が可能状態になるとノートパソコンにBeatJamのDigital Audioプレーヤーパネルが表示されます。



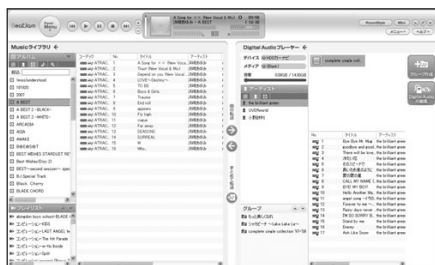
PC接続中画面(本機)



接続すると



ノートパソコンの画面に
Digital Audioプレーヤーパネルを表示



本機の情報が表示されます。

12

ノートパソコンでBeatJamの操作を行なってください。
(本機へノートパソコンの音楽データを転送(チェックアウト)します。)



お願い

本機へ音楽データを転送するときは、Gracenote音楽認識サービスより曲情報の再取得をしてください。

 66ページ

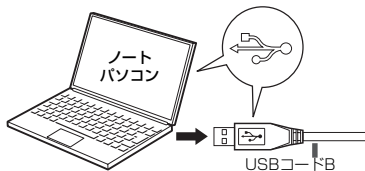
※ノートパソコン上の(移動(アップロード))/転送(チェックアウト)などの操作方はCD-ROMに付属のBeatJamの説明書、または株式会社ジャストシステムのサポートホームページを参照してください。

■ 接続をやめる(終了する)場合

①BeatJamを閉じる。

※ノートパソコンのタスクバーより“ハードウェアの安全な取り外し”を行なってください。

②ノートパソコン側のUSBコードBを外す。

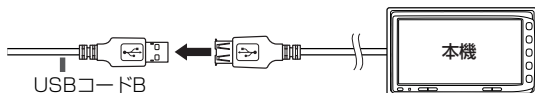


③本機が更新作業に入ります。



Music Rackの曲数が増加するにしがって更新時間も長くなります。

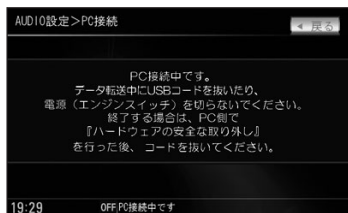
④更新が完了したことを知らせるメッセージが表示されたら、本機側に接続されているUSBコードBを外す。



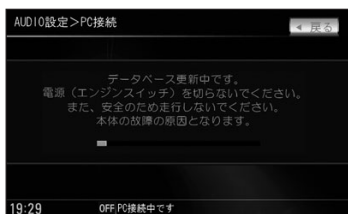
⑤車のエンジンスイッチをO(OFF)にし、電源を切る。

: 他の操作をする場合は10秒過ぎてからエンジンスイッチをⅡ(ON)にし電源を入れてください。

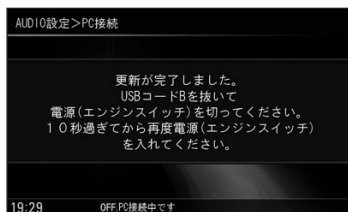
PC接続中画面(本機)



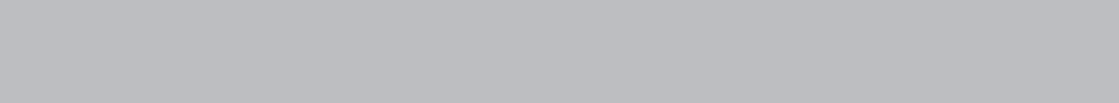
更新中画面



更新完了メッセージ



- アップロードとは本機のデータをパソコンに移動することをあらわします。(本機の音楽データは移動によって削除されます。)パソコン(BeatJam)にある音楽データを本機に転送することをチェックアウト、チェックアウトしたデータをノートパソコンに戻すことをチェックインと呼びます。
- 「BeatJamでできること」64ページ、「BeatJam使用上のご注意」65ページもご参照ください。



CDプレーヤーを使う	76~85
各部の名称とはたらき	76
表示部(再生画面)について	77
CDを聞く	78、79
CDモードを終了する	80
CDを取り出す	80
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する (トラックを戻す／進める)	81
早戻し／早送りをする	81
再生モードを選択する (リピート／ランダム／スキャン再生)	82、83
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる	84、85

CDプレーヤーを使う(1)

各部の名称とはたらき

CDモード TOP画面
(トラック情報表示時(例))



① **トラック情報** ボタン*1

トラックの詳細情報を表示します。

② **トラックリスト** ボタン*1

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
(84、85ページ)

③ **切替** ボタン*1

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
(317ページ)

④ **録音** ボタン*1

録音設定画面を表示し、録音を開始させることができます。
(50～52ページ)

⑤ **再生モード** ボタン*1/*2

リピート/ランダム/スキャン再生の選択をすることができます。
(82、83ページ)

⑥ **AUDIO** ボタン

AV MENU画面を表示します。

※ナビゲーション画面/FM/AM/Digital TV/
Music Rack/SD/iPod/USB/VTRモード
からCDモードに切り替えるときに使用します。

⑦ **TILT** ボタン(▲)

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる/
取り出すときに使用します。
(78、80ページ)

⑧ **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)*2

好きな曲を選びます。また、このボタンを
押し続けると早戻し(◀◀)/早送り(▶▶)します。
(81ページ)

⑨ **VOLUME** ボタン

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

⑩ **Quick** ボタン*1

カスタマイズ機能を使用することができます。
(316ページ)

⑪ **電源** ボタン(⏻)

オーディオモードを開始/終了(OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。



アドバイス

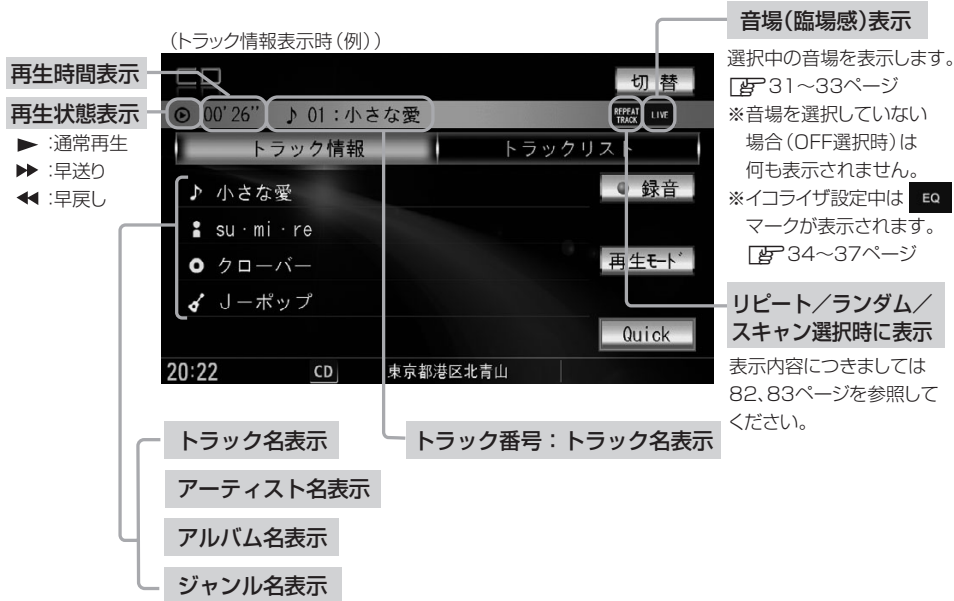
●*1印：録音(REC)中は表示されません。

●*2印：録音(REC)中は操作できません

●録音(REC)中はCD録音画面を表示し、**録音中止** ボタンが表示されます。タッチすると録音(REC)を中止します。

●1枚のディスクに音楽データとMP3/WMAデータが混在する場合はMP3/WMAデータは再生しません。

表示部(再生画面)について

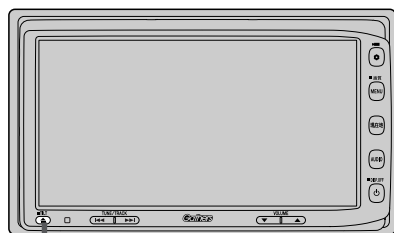


アドバイス

- トラック情報表示のとき、トラック名/アーティスト名/アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな対応しています。)
- トラック情報表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名/アーティスト名/アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
※画面上部のトラック名が表示しきれない場合は、トラック情報表示/トラックリスト表示のどちらからでもタッチしてスクロールすることができます。
- DISC内のCD-TEXT情報と、Gracenoteデータベースの検索結果によって再生時の表示は以下のようになります。
 - ・ DISCにCD-TEXT情報があれば、トラック名/アーティスト名/アルバム名はCD-TEXTが優先して表示されます。ジャンルは空欄となります。
 - ・ CD-TEXTが無い場合でGracenoteデータベースにヒットしている場合は、Gracenoteデータベースのトラック名/アーティスト名が表示されます。
 - ・ DISCにCD-TEXTも無くGracenoteデータベースにもヒットしなければ、トラック名/アーティスト名/アルバム名は全て“No Title”と表示されます。
 - ・ 本機へ録音(REC)されるタイトル情報はGracenoteデータベースにヒットしている場合のみであり、CD-TEXT情報は反映されません。
 - ・ CD再生中のリスト表示はGracenoteデータベースにヒットしている場合にトラック名がリスト表示されます。DISCにCD-TEXTがある場合はCD-TEXTが優先してリスト表示されます。どちらの情報もない場合はトラック名に全て“TRACK1…”と表示され、タイトル表示されません。
- ※市販されている音楽CDの大多数にはCD-TEXT情報は入っていません。
- トラック名/アーティスト名/アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。

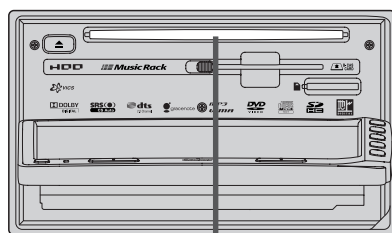
CDプレーヤーを使う(2)

[ディスプレイが閉じた状態]



1 TILT ボタン (▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 ディスク挿入口

CDを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1

パネルの **TILT** ボタン (▲) を押す。

：ディスプレイが開きます。

2

ディスク挿入口にCDを挿入する。

：自動でディスプレイが閉じ、CDの再生を始めます。

※本機の録音方法(初期)は **自動録音** に設定されているため、未録音のCDを挿入した場合は再生と同時に Music Rack (HDD) へ自動で追っかけ録音を開始します。

🔧 50ページ

録音 (REC) を停止させるには録音画面で **録音中止** ボタンをタッチしてください。

※録音時の自動／手動は設定により変更できます。

🔧 「録音方法の手動／自動を選択する」

46、47ページ

※マッハリッピング(高速録音)をする場合も

録音中止 ボタンをタッチしていったん追っかけ録音を止めてから各操作を行なってください。

🔧 「**録音速度を選択し、録音方法／録音音質を選択する**」 50～52ページ



CDディスクの印刷面を下にして入れるとディスクを認識しません。必ず印刷面を上にして挿入してください。



CDモード画面(自動録音設定時)
未録音の場合(例)



Music Rackに録音すれば車内がCDであふれることもなく、ディスクの交換の手間も省け便利です。Music Rackへ録音した曲は、再生選択や削除などの編集も可能です。

🔧 「**本機のMusic Rack(HDD)機能について**」 48ページ

🔧 「Music Rackを使う」 106～143ページ

※音楽CD以外(MP3/WMAなど)は録音できません。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回CDモード画面でOFF
(オーディオモードを終了)していた場合

- ① パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。
：前回のつづきからCDの再生を始めます。



- ① **電源** ボタン(⏻)

- ナビゲーション画面または前回CDモード以外のオーディオモード画面の場合

- ① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。
：AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AV MENU画面のときは…

- ②へ進んでください。

- ラストモード*画面のときは…
もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。
：AV MENU画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面
(OFF含む)

- ②画面の **CD** ボタンをタッチする。
：CDの再生を始めます。



- ① **AUDIO** ボタン

AV MENU画面(例)



■ 音量や画質、オーディオの調整をする場合

- 🔊 「音量を調整する」 26ページ
- 🖼️ 「画質調整のしかた」 27～29ページ
- 🔊 「オーディオの調整をする」 31～43ページ



アドバンス

CDの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

- 🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

CD

聞く

CDプレーヤーを使う(3)

CDモードを終了する

1

パネルの **電源** ボタン()を押す。

：画面に“OFF”と表示されCDの再生を止めます。(オーディオモード終了)

※CDの再生を止めても録音中の場合、録音は継続されます。

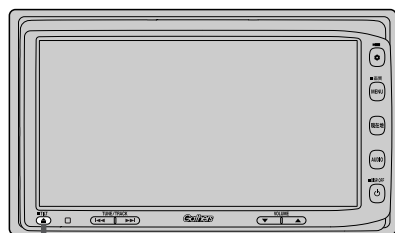


1 (電源) ボタン()



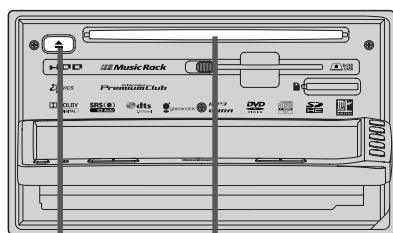
CDを取り出す

[ディスプレイが閉じた状態]



1 **TILT** ボタン()

[ディスプレイが開いた状態]



2 **DVD/CDイジェクト** ボタン()

ディスク挿入口

1

パネルの **TILT** ボタン()を押す。

：ディスプレイが自動で開きます。

2

パネルの **DVD/CDイジェクト** ボタン()を押す。

：CDがディスク挿入口より出てきます。



アドバンス

CDを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。

※再生中に車のエンジンスイッチを0 (OFF)にした場合は、次に車のエンジンスイッチをI (ACC)またはII (ON)にすると、前に再生していたつづきから再生を始めます。

※ **DVD/CDイジェクト** ボタン()を押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクを本機に引き込み、再生を開始します。

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1 パネルの「トラック」ボタン(◀◀／▶▶)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



1 「トラック」ボタン

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。*

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



アドバイス

- 画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。
「**トラックリストより好きなトラックを選び再生させる**」84、85ページ
- 録音(REC)中トラックを戻す／進めることは操作できません。
- *：トラック再生開始3秒以内に押した場合は、前のトラックの頭に戻ります。

早戻し／早送りをする

1 パネルの「トラック」ボタン(◀◀／▶▶)を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

再生状態表示

▶：通常再生

▶▶：早送り

◀◀：早戻し



1 「トラック」ボタン

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。



アドバイス

- それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます
- 録音(REC)中の早戻し／早送りはできません。

CDプレーヤーを使う(4)

再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン再生)

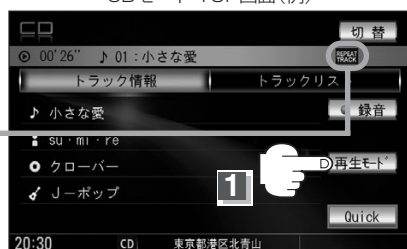
再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1 画面の再生モード ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

手順 2 で選択した再生モードがマーク表示されます。

CDモード TOP画面(例)

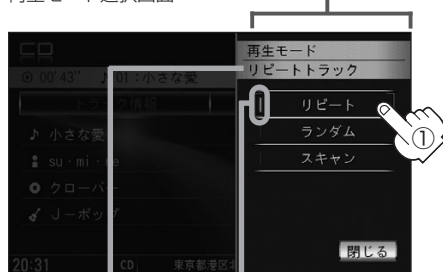


2 再生したいモード(リピート/ランダム/スキャン ボタン)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① リピート ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの
状態を表示

：表示灯点灯し、再生中の曲を繰り返し再生します。

- **リピート** ボタンをタッチすると下記の
ように用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生

(表示灯点灯/
TOP画面のとき **REPEAT TRACK** マーク表示有)

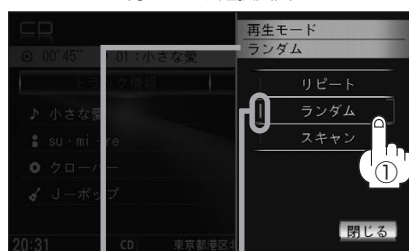
通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯/マーク表示無)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① ランダム ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの
状態を表示

：表示灯点灯し、ディスク内の曲を順序不同再生します。

- **ランダム** ボタンをタッチすると下記の
ように用途が変わります。

ディスク内の曲をランダム再生

(表示灯点灯/
TOP画面のとき **RANDOM** マーク表示有)

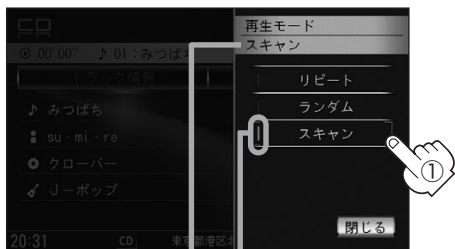
通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯/マーク表示無)

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モード 選択時点灯の状態を表示

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

- **スキャン** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

ディスク内の曲をスキャン再生

(表示灯点灯／
TOP画面のとき **SCAN** マーク表示有)



通常再生(スキャン解除)

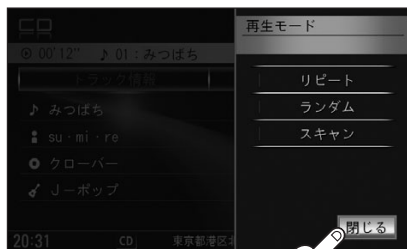
(表示灯消灯／マーク表示無)

3

設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

：TOP画面に戻ります。



3



アドバイス

- 録音(REC)中は操作できません。
- マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。
- ランダム再生は次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

CD

「リピート再生」／「ランダム再生」／「スキャン再生」

CDプレーヤーを使う(5)

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

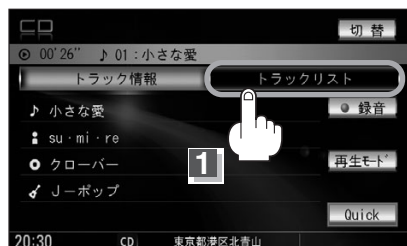
トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1

画面の**トラックリスト** ボタンをタッチする。

：トラックリストが表示されます。

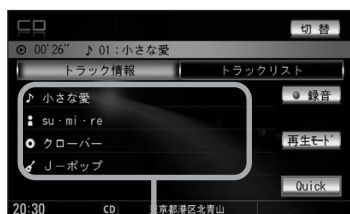
CDモードTOP画面
トラック情報表示(例)



アドバイス

CDモードのTOP画面は選択するボタン(**トラック情報** / **トラックリスト**)によってトラック情報表示／トラックリスト表示となります。

TOP画面(例)

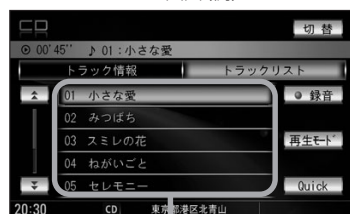


トラック情報表示

トラックリスト
ボタンタッチ

トラック情報
ボタンタッチ

TOP画面(例)



トラックリスト表示

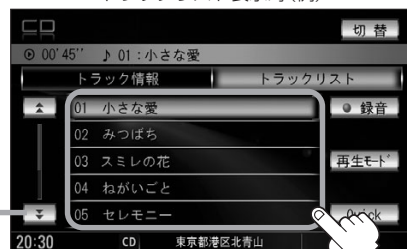
※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2

再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

TOP画面
トラックリスト表示時(例)



↑ ↓ ボタンタッチでページ戻し／送り表示

2



アドバイス

トラックリストについて

- CD-TEXT情報またはGracenoteデータベースタイトル情報が表示されます。
- タイトル情報がない場合は、TRACK1、TRACK2、TRACK3……と表示されます。
- TOP画面をトラック情報表示に戻したい場合は **トラック情報** ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)



アドバイス

録音 (REC) 中は操作できません。

※録音 (REC) 中はトラックリストを表示させてもトラックの選択はできません。トラックリストの確認のみとなります。

